

Ethernet 経由 動画配信ユニット

FlexNetViewer® HD



左側の写真は RP-VL-R-02 です。右側の写真は RP-VL-S-02 です。

型式	名称
RP-VL-S-02	Ethernet経由 動画配信ユニット 送信機
RP-VL-R-02	Ethernet経由 動画配信ユニット 受信機

製品の価格・仕様・色・デザインは、予告なしに変更することがあります。

特長

■ モニタ画面を LAN で延長可能

ケーブル長に制限があるパソコンとモニタ間を、送信機と受信機の間を市販の LAN ケーブル(カテゴリ 5 以上)や HUB を使用することで簡単に距離を延長できます。画像信号は、LAN のパケットに変換し伝送するため、距離に依存する画質劣化を抑えた伝送が可能です。

■ パソコン、OS に依存しないで画面表示が可能

送信機(RP-VL-S-02)と受信機(RP-VL-R-02)をセットで使用することで、パソコンや OS などプラットフォームに依存することなく画面表示が可能です。同じモニタ画面を 1:1 および 1:N で送信することができます。ユーティリティの煩わしい設定は必要ありません。

■ ハイビジョン動画に対応

画像圧縮専用 CPU 搭載により、ハイビジョンに対応した動画配信ができます。

■ ライブ映像を簡単に配信

コンボジット入力端子搭載(送信機側)によりビデオカメラを直接接続することができ、ライブ映像を簡単にリアルタイム配信できます。

■ マルチモニタが可能

複数台の受信機(RP-VL-R-02)を接続することにより、送信側のモニタ画面を複数台のモニタに一斉送信することが可能です。モニタの台数だけ受信機(RP-VL-R-02)が必要になります。

■ COM ポートを標準搭載

受信機(RP-VL-R-02)には、COM ポートを標準搭載しています。送信側の Windows パソコンに専用ドライバをインストールすることで、パソコン本体の COM ポートとして割り付けて使用でき、シリアル通信機器を LAN 回線経由で遠隔操作することも可能です。

■ 画像転送ユーティリティ、本体管理ユーティリティを用意

画像転送ユーティリティ(別売)をパソコンにインストールすることにより、パソコンを送信機または受信機の代わりとして使用できます。パソコンを送信機として複数の受信機(RP-VL-R-02)に接続したり、パソコンを受信機として複数の送信機(RP-VL-S-02)と接続したりすることができます。また、本体管理ユーティリティ*1を使用することで送信機(RP-VL-S-02)、受信機(RP-VL-R-02)の様々な設定を LAN 経由で行うことが可能です。

*1: 本体管理ユーティリティは当社ホームページよりダウンロード(無償)ができます

本製品は、ハイビジョン動画の高精細映像を LAN 回線で長距離伝送可能な動画配信ユニット[FlexNetViewer® HD]です。

公共施設、交通、ショッピングモール、大型量販店、アミューズメント施設などのさまざまな分野で、高品質な映像によるデジタルサインージシステム(電子看板)や遠隔監視システム、ライブ映像の送受信システムを実現します。

FlexNetViewer® HD は、解像度 1920×1080 までのデジタル信号に対応する DVI 信号、およびアナログ方式の映像機器に対応するコンボジット信号に対応しておりビデオカメラを直接接続することができます。RP-VL-S-02 は、入力された画像信号を LAN のパケットに変換して送信する送信機です。

RP-VL-R-02 は、受信した LAN のパケットを画像信号に変換して出力する受信機です。

送信機と受信機をセットで使用することで、パソコンや OS などプラットフォームに依存することなくモニタ画面を 1:1 または 1:N の接続が可能です。

オプションの画像転送ユーティリティを使用することでパソコンを送信機または受信機として、様々な接続が可能です。

また、RP-VL-R-02 は当社製仮想 COM ドライバを使用することでシリアル I/O(RS-232C)も使用することができます。

■ モニタ取り付け金具をオプションで用意

モニタ背面に本製品を取り付けるための取り付け金具をオプションで用意しています。

取り付け金具は、VESA 規格(75mm×75mm または 100mm×100mm)に準拠しています。

▼ 注意

- 送信機と受信機は、接続するパソコンやモニタとの相性により、画像の乱れが発生する場合や画像を転送できない場合があります。製品をご採用する際は、実際にご使用になる環境において、当社の貸出機を使用して評価を行って頂くことを推奨いたします。
- ルータを超える場合(インターネット接続する場合など)は、1 対 1 の接続になります。また、グローバル IP を取得するなどネットワークの知識が必要になりますのでご使用の際は十分な注意が必要です。
- 送信機と受信機を直接 LAN ケーブルで接続する場合は、クロスケーブルをご使用ください。

商品構成

- ☐ 本体[RP-VL-S-02, RP-VL-R-02 のいずれか]…1
- ☐ ファーストステップガイド…1
- ☐ AC アダプタ…1
- ☐ AC ケーブル*1…1
- ☐ ゴム足…4
- ☐ DC プラグアタッチメント…1
- ☐ ケーブルタイ[RP-VL-S-02 のみ]…1
- ☐ M3 ネジ…1
- ☐ フェライトコア[RP-VL-S-02 のみ]…1
- ☐ Question 用紙…1
- ☐ 登録カード&保証書…1
- ☐ 登録カード返送用封筒…1

*1 ご使用の地域の規格に準拠した AC ケーブルを使用してください。

▼ 注意

本製品の設定(IP アドレスなど)をリモート(LAN 経由)で行うための「本体管理ユーティリティ」は、当社ホームページよりダウンロード(無償)ができます。パソコンを送信機もしくは受信機として使用するソフトウェア「画像転送ユーティリティ」は別売です。

動画配信機能

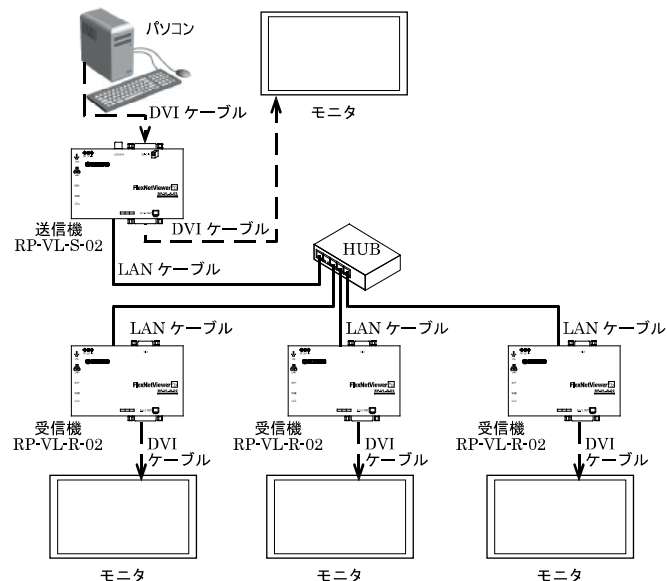
モニタ画面を Ethernet で延長することで、離れた場所にあるモニタに表示することができる機能です。画像信号(DVI 信号、コンポジット)を LAN のパケットに変換し送信します。

ケーブル長に制限のある画像信号を、市販の LAN ケーブルを使用して距離を延長できます。

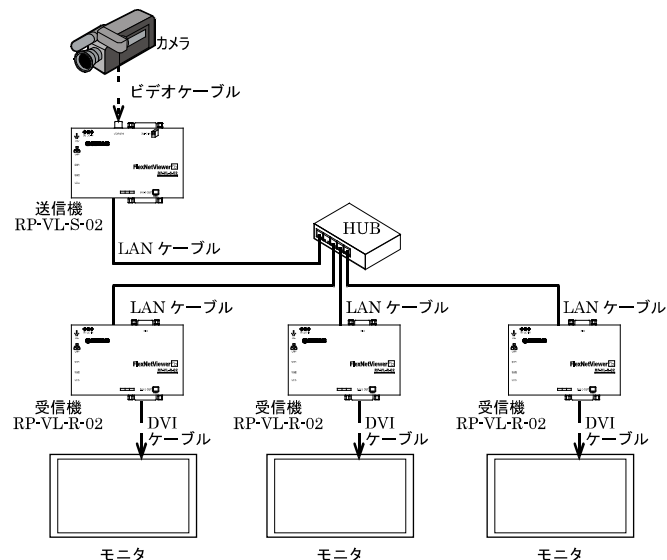
また、複数台の受信機を接続することにより、入力画面を複数台のモニタに同時に表示することが可能です。

送信機と受信機をセットで使用する場合は、ハード処理のみで画像を転送するため、パソコンに負荷を掛けることがなく、またパソコンや OS などのプラットフォームに依存せずに使用できます。

◆ PC との接続例



◆ カメラとの接続例



▼注意

- ・送信機複数台と受信機 1 台の構成で使用することはできません。
- ・受信機の接続台数は無制限です。
- ・コンポジット入力時は、受信機の DVI 出力から解像度 480p で出力されます。送信機の DVI 出力から画像出力されません。
- ・本製品は MPEG-4 圧縮を使用しているため、入力画像を完全に再現することはできません。動画の再生品質につきましては、予め貸出機にてご確認ください。

- ・画像信号が入力されている状態で解像度を変更しないでください。
- ・相性等の影響で正常に画面が表示されない場合は、本体管理ユーティリティを使用して、送信機および受信機の解像度設定を使用する PC の解像度に変更してください。設定方法は本体管理ユーティリティのドキュメントをご参照下さい。

URL: <http://www.contec.co.jp/support/download/>

- ・無線 LAN で通信する場合、環境によっては画像が乱れる場合があります。
- ・モニタや PC(グラフィックボード)、無線 LAN の動作実績データは別途テクニカルリファレンスをご参照ください。テクニカルリファレンスは当社ホームページよりダウンロード可能です。
- ・コンポジット入力はアナログ信号のため、DVI 入力に比べて画質は劣化いたします。
- ・ルータ使用時の設定は本体管理ユーティリティのドキュメントファイルを参照ください。

URL: <http://www.contec.co.jp/support/download/>

リモートシリアル I/O 機能

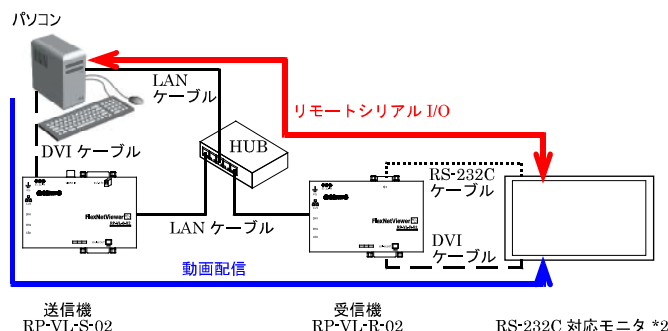
当社仮想 COM ドライバ*1 を使用することで受信機に接続した RS-232C 機器をリモートで制御することができる機能です。(本機能は受信機のみで使用可能です。)

RS-232C 規格上の制限(15m)があるシリアルデータを、LAN ケーブルを使用して距離を延長できます。

RS-232C のボーレートは、300bps~115200bps の間で仮想 COM ドライバにより設定が可能です。

*1 当社ホームページから無償でダウンロードできます。

◆ リモートシリアル I/O 機能と動画配信機能の同時使用構成例

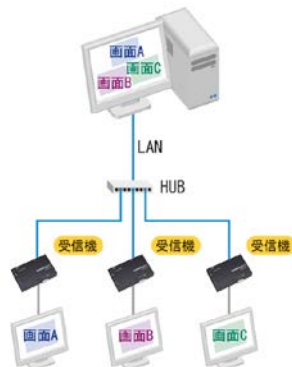


*2 RS232C 通信により電源の ON/OFF 制御や各種設定変更が可能な製品がございます。

画像転送ユーティリティ (オプション)

オプション(別売)の画像転送ユーティリティを使用することで、パソコンを送信機または受信機として使用できます。
詳細は、画像転送ユーティリティのドキュメントを参照ください。

◆ Windows パソコンで遠隔地の表示画面をコントロール



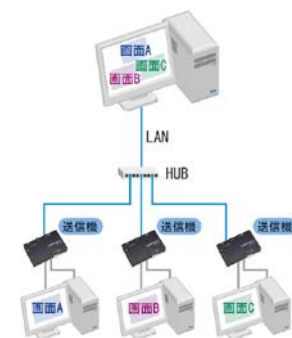
Windows パソコンをホストコンピュータとして、遠隔地にある複数台のモニタに別々の画面を配信することができます。

画面データは、Windows パソコン(別売の画像転送ユーティリティ)から配信するため、送信機は不要です。

▼注意

Windows 2000 / XP の場合、選択したアプリケーションのウィンドウの上に、別のアプリケーションのウィンドウがある場合、重なった状態の画像データが転送されます。

◆ 遠隔地のコンピュータ表示画面を監視



遠隔地にある複数台のコンピュータ表示画面を Windows パソコンで受信、マルチ表示で監視することができます。

画面データは、Windows パソコン(別売の画像転送ユーティリティ)で受信するため、受信機は不要です。

仕様

項目	RP-VL-S-02 (送信機)	RP-VL-R-02 (受信機)
DVI	入力端子	DVI-I コネクタ × 1 *2
	出力端子	DVI-I コネクタ × 1 *1
	対応解像度	VGA(640 × 480)、SVGA(800 × 600)、XGA(1024 × 768)、480p(720 × 480)、720p(1280 × 720)、1080i(1920 × 1080 / 受信機のみ) *3
	水平周波数	VGA : 31.50kHz、SVGA : 37.90kHz、XGA : 48.40kHz、480p : 31.50kHz、720p : 45.00kHz、1080i : 33.75kHz
	垂直周波数	60Hz
	最大フレームレート	30fps *4*5
	ネットワーク負荷率	8% *5
	信号延長可能距離	5m以内
	信号規格	RCA コネクタ × 1
	信号規格	NTSC
VIDEO (コンボジット)	入力端子	RCA コネクタ × 1
	信号規格	NTSC
	対応解像度	480i(720 × 480) *6
	水平周波数	15.73kHz
	垂直周波数	60Hz
	最大フレームレート	30fps *4*5
	ネットワーク負荷率	8% *5
	信号延長可能距離	20m 以内 *7
	入出力端子	—
	チャンネル数	—
シリアル I/O	入出力仕様	RS-232C (TXD, RXD, RTS, CTS, DTR, DSR)
	伝送方式	調歩同期式
	ボーレート	300bps, 1200bps, 2400bps, 4800bps, 9600bps, 19200bps, 38400bps, 57600bps, 115200bps *8
	データ長	7, 8 ビット 1, 2 ストップビット *8
	パリティチェック	偶数、奇数、なし *8
	信号延長可能距離	15m 以内 *7
	入出力端子	RJ-45 コネクタ × 1
	イーサネット規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)
	データ転送速度	100Mbps(100BASE-TX)
	通信方式	半二重(Half Duplex)、全二重(Full Duplex)
その他	転送方式	UDP、TCP、DHCP、IP、ARP
	外形寸法(mm)	123(W) × 77(D) × 26(H)
	使用条件	0 - 50℃、10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
	電源	AC アダプタ 5VDC 2A(Max.) (添付)
	消費電力	5VDC 1000mA(Max.) 5VDC 800mA(Max.)
	質量	267g 264g
	質量	267g 264g

*1 : デジタル(DVI)信号のみに対応しております。DVI-RGB 変換ケーブル(コネクタ)を用いてもアナログ入力及び出力を行うことはできません。

*2 : 本製品は HDCP には対応しておりません。

*3 : オプションの画像転送ユーティリティ使用時のみ可能。1080i 出力時は、インタレース入力に対応したモニタをご使用ください。

*4 : 解像度設定を“自動”以外に設定した場合の、最大フレームレートの目安は以下の通りです。
VGA : 30fps, SVGA : 30fps, XGA : 24fps, 480p(480i) : 30fps, 720p : 24fps, 1080i : 5fps
本製品の解像度設定が“自動”の場合は、最大のフレームレートで出力されない場合があります。また、画像転送ユーティリティを使用する場合は、使用する PC のスペックにも依存します。詳細は画像転送ユーティリティのドキュメントを参照ください。

*5 : 画像内容や解像度によって変動いたします。

*6 : 送信機の入力対応解像度になります。受信機からは 480p(720 × 480)で出力されます。

*7 : ケーブルの材質や配線環境などによっては実際の信号延長可能距離は短くなります。

*8 : 仮想 COM ドライバによって設定が可能です。

設置環境条件

条件項目	条件内容
使用周囲温度	0 - 50℃
周囲湿度	10 - 90%RH(ただし、結露しないこと)
浮遊粉塵	特にひどくないこと
腐食性ガス	ないこと
耐ノイズ性	ラインノイズ AC ライン/2kV、信号ライン/1kV(IEC1000-4-4Level 3、EN61000-4-4Level 3)
	静電耐圧 接触/4kV(IEC1000-4-2Level 2、EN61000-4-2Level 2)
	気中/8kV(IEC1000-4-2Level 3、EN61000-4-2Level 3)
耐振動性	掃引耐久 10 - 57Hz/片振幅 0.15mm、57 - 150Hz/2.0G
耐衝撃性	X、Y、Z 方向各 40 分(JIS C60068-2-6 準拠、IEC60068-2-6 準拠)
接地	15G X、Y、Z 方向各 11ms 正弦半波 (JIS C60068-2-27 準拠、IEC60068-2-27 準拠)
接地	D 種接地(旧第 3 種接地)、SG-FG 導通

AC アダプタ環境条件(環境仕様)

項目	仕様
入力電圧範囲*1	100 - 240VAC 50Hz/60Hz
定格入力電流	AC400mA (100VAC, 50Hz 最大負荷時)
周波数	47 - 63Hz
定格出力電圧	5.0VDC(0A - 2.0A 時)
定格出力電流	2.0A(Max.)
使用周囲温度	0 - 40℃
使用周囲湿度	20 - 80%RH (ただし、結露しないこと)
浮遊粉塵	特にひどくないこと
腐食性ガス	ないこと
外形寸法(mm)	50(W)×78(D)×31.5(H) (ただし、ケーブルや突起物は含まない)
質量	157g

*1 添付 AC ケーブルは 125VAC 用です。

サポートソフトウェア

■ 本体管理ユーティリティ FNVHD-UTM

(当社ホームページよりダウンロード(無償)ができます)

送信機(RP-VL-S-02)、受信機(RP-VL-R-02)の IP アドレス、リモートシリアル I/O(SIO)の使用可否、通信仕様などを設定できます。

対応 OS などの詳細情報については、ダウンロードした本体管理ユーティリティのマニュアルを参照ください。

URL: <http://www.contec.co.jp/>

■ 画像転送ユーティリティ RP-VL-UTIL-V1 (オプション)

パソコンにインストールすることにより、送信機(RP-VL-S-02)または受信機(RP-VL-R-02)のどちらか一方とパソコンを直接つないで画面表示を行うことが可能になります。

1 台のパソコンのモニタ画面を複数のモニタに表示することや、複数のパソコンのモニタ画面を 1 台のモニタに分割して表示することが可能です。

なお、体験版が当社ホームページよりダウンロード(無償)ができます。また、対応 OS などの詳細情報については、画像転送ユーティリティのマニュアルを参照ください。

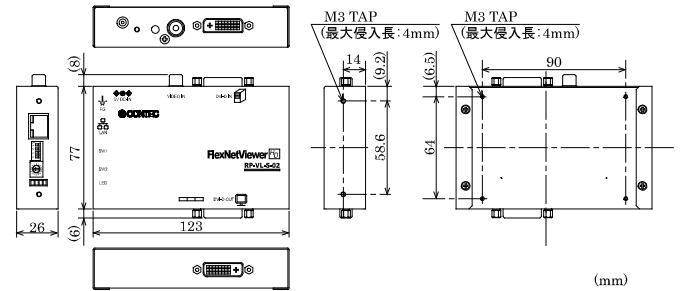
アダプタ(オプション)

モニタ取り付け金具 VESA 100mm x 100mm 用	: BRK-VL02-100
モニタ取り付け金具 VESA 75mm x 75mm 用	: BRK-VL02-75
DVI-D ケーブル(2m)	: IPC-DVI/D-020
DVI-D ケーブル(5m)	: IPC-DVI/D-050

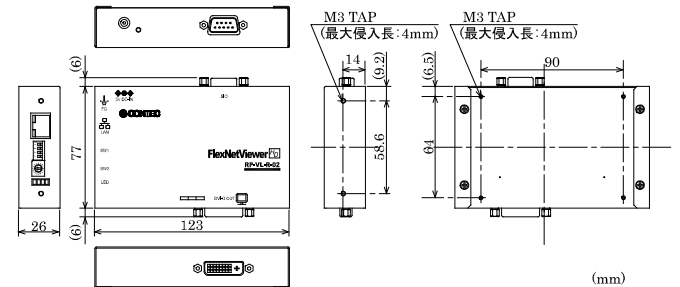
※ 詳細は、当社ホームページでご確認ください。

外形寸法図

■ RP-VL-S-02(送信機)



■ RP-VL-R-02(受信機)



■ AC アダプタ

